

有用性系加算・市場性加算のルールの変遷

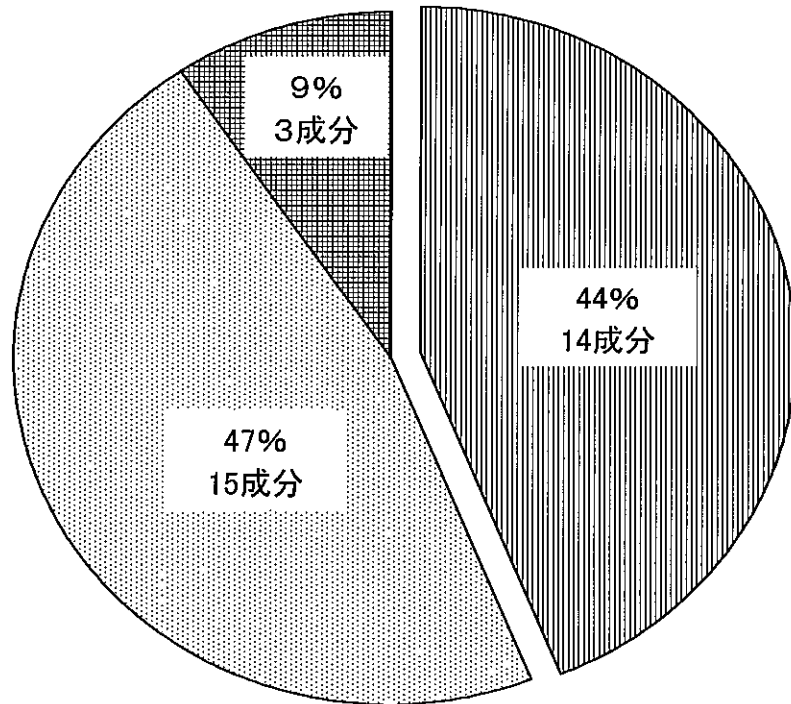
市場性加算率は、平成7年中医協建議以降据え置かれている。

	昭和57年 懇談会報告	平成3年 中医協建議	平成7年 中医協建議	平成12年 薬価算定の 基準について	平成14年 薬価算定の 基準について	平成16年 薬価算定の 基準について	平成18年 薬価算定の 基準について
有用性系加算 (基準加算率)	有用性加算 (3%)	画期性加算 (20%) 有用性加算 (3%)	画期性加算 (20%) 有用性加算(I) (10%) 有用性加算(II) (3%)	⇒	画期性加算 (40~100%) 有用性加算(I) (15~30%) 有用性加算(II) (5~10%)	⇒	画期性加算 (50~100%) 有用性加算(I) (25~40%) 有用性加算(II) (5~20%)
市場性加算 (基準加算率)	市場性加算 (3%)	市場性加算 (3%)	市場性加算(I) (10%) 市場性加算(II) (3%)	⇒	⇒	⇒	⇒

※平成18年度薬価制度改革以降の平均基準加算率は以下のとおり
有用性加算 I : 28.8% 有用性加算 II : 10.4%

汎用規格の収載薬価と外国平均価格の比較

平成18年度改正薬価算定ルールの下、類似薬効比較方式により算定され、外国価格が記載された32成分のうち、汎用規格の収載薬価が外国平均価格の75%未満であった成分は44%（14成分）。



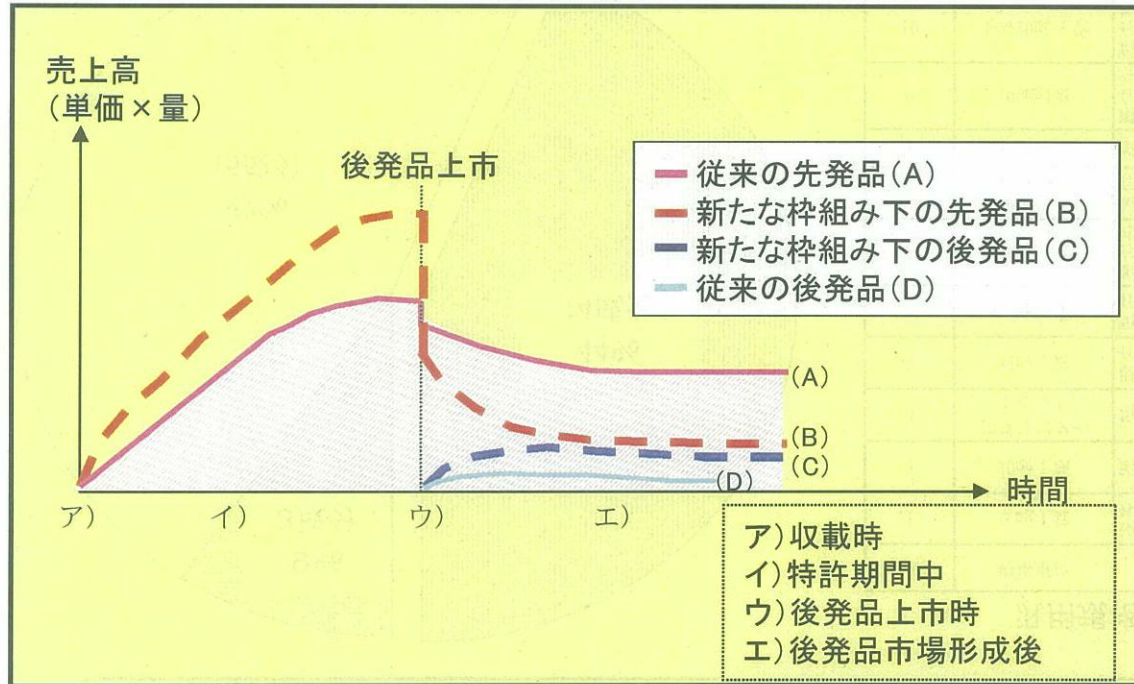
■ 75%未満 □ 75%～150% ▨ 150%以上

汎用規格の収載薬価が外国平均価格の75%未満の成分一覧

新薬	規格単位	算定内容	収載薬価 (A)	外国平均価格 (B)	(A) / (B)	備考
1	6mg 1錠	類似薬効比較方式 (I) 外国価格調整 (引上げ)	186.00	993.30	19%	外国価格は5mg錠の価格
2	30mg 1瓶	類似薬効比較方式 (I)	634	3,067	21%	外国価格は1カ国の価格
3	28プリスター 1キット	類似薬効比較方式 (I)	3,066.00	11,077.40	28%	外国価格は1カ国の価格
4	35mg 1錠	規格間調整 有用性に基づく市場性加算 (II)	847.30	2,324.70	36%	外国価格は1カ国の価格
5	0.5mg 1錠	類似薬効比較方式 (I) 有用性加算 (II)	1,058.10	2,720.90	39%	外国価格は1カ国の価格
6	300mg 1錠	類似薬効比較方式 (I) 有用性加算 (II)、市場性加算 (II) 外国価格調整 (引上げ)	53.00	130.10	41%	
7	1000単位 1瓶 (溶解液付)	類似薬効比較方式 (I) 有用性加算 (II)	74,053	159,993	46%	外国価格は参考
8	25mg 1錠	類似薬効比較方式 (I)	137.20	225.80	61%	
9	100mg 1錠	類似薬効比較方式 (I) 有用性加算 (II) 外国価格調整 (引上げ)	83.70	136.40	61%	
10	1% 20mL 1管	類似薬効比較方式 (I) 有用性加算 (II) 外国価格調整 (引上げ)	14,678	22,174	66%	外国価格は25mLの価格
11	30µg 1mL 1筒	類似薬効比較方式 (I) 外国価格調整 (引上げ)	8,033	11,983	67%	
12	4mg 1錠	類似薬効比較方式 (I) 外国価格調整 (引上げ)	204.30	293.00	70%	
13	0.1% 1mL	類似薬効比較方式 (I) 外国価格調整 (引上げ)	204.30	288.00	71%	
14	5mg 1錠	類似薬効比較方式 (I) 外国価格調整 (引上げ)	201.60	282.00	71%	

出典: 中医協公表資料に基づく日薬連・保険薬価研究委員会調べ

イノベーション評価・促進の枠組みによる 売上高推移のイメージ



- ア) 新薬の薬価設定プロセス・ルールを改善し、立上りを高める
- イ) 特許期間中の循環的価格低下を抑え、数量の伸長がより売上高に反映される
- ウ) 改定を猶予した累積分等を引き下げ、市場の効率化に寄与する
- エ) 後発品への代替と価格競争により、効率的な市場が形成される

- 新薬の市場存続期間中のトータルの売上げの大部分を特許期間中へ前倒し
- 新薬の売上高推移において、従来の先発品(A)の曲線下面積(総売上)と、新たな枠組み下の先発品(B)の曲線下面積(総売上)はイコール